

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公開番号】特開2004-87469(P2004-87469A)

【公開日】平成16年3月18日(2004.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-011

【出願番号】特願2003-175216(P2003-175216)

【国際特許分類】

**H 0 1 B 15/00 (2006.01)**

**B 2 9 B 17/02 (2006.01)**

**B 0 9 B 5/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 B 15/00 Z A B

B 2 9 B 17/02

B 0 9 B 5/00 Q

B 0 9 B 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月28日(2006.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】手続補正書

【補正対象項目名】手続補正1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

【実施例】

77kV80mm<sup>2</sup>CVケーブルの遮水層付きポリ塩化ビニル製シースを用い、遮水層が接着されたシースを半円縦割りにして長さ15cm、幅3cmとした試験片を用いて、表1の条件で、シースから遮水層を分離するときの作業性、剥離力、分離後のシースの状態について評価した。遮水層は厚さ0.5mmの鉛箔の片面に補強層として厚さ0.05mmのポリエチレンテレフタレートラミネートし、他の片面に厚さ0.1mmの半導電樹脂をラミネートしたテープを、ポリオレフィン系ホットメルト型接着剤でポリエチレンテレフタレートラミネート面側をシースに熱融着したものと、ポリエステル系接着剤でポリエチレンテレフタレートラミネート面側をシースに熱融着したものとを用いた。評価は以下の方法によって行った。

「作業性」：遮水層を適当長剥がすときの剥がしやすさを評価した。

「剥離力」：前記試験片から適当長剥がした遮水材を引張試験機の下部グリップ部に、他の部を上部グリップにセットし、角度180°、剥離速度100mm/分で剥離力を測定した。

「分離後のシースの状態」：遮水層剥離後のシース表面の接着剤の残存状態を目視により評価した。